



新小山市民病院ニュースレター

Shin-  yama City Hospital News letter

Vol.22

1 副院長挨拶

～「こんなにすぐ良くなると思わなかったよ。先生ありがとう。」～

朝の回診時に、慢性硬膜下血腫で前日手術を受けた患者さんからいただいた言葉です。私たち脳神経外科医にとって、なによりの仕事へのモチベーションは、この一言だと思います。もちろん重症のくも膜下出血の患者さんは、話をする以前に目が開かないことも多くあります。入院後1ヶ月くらいそのような状態が続いたのち、まるで初夏に一齐に咲くアルプスの高山植物のように、突然目覚めて発語があったりすると、私たちも患者さんのご家族もその目覚めに驚き、そして脳の偉大な回復力に畏怖するのです。

医療は、患者さんの回復に全ての原点があると思います。と同時にこのような医療を継続していくには、健全な経営が不可欠です。いくら良い医療を提供できたとしても、赤字続きの病院では先行きは見えています。

私は今年度から患者支援センターの仕事から、経営戦略会議という主に病院のリアルタイムの収支を見ながら、経営上の強み、弱みを分析し、医師を筆頭に病院全体にフィードバックするセクションに異動となりました。医師は医学教育では経営に関しての授業はほぼ受けておらず、私も当初は正直、財務の計算表をみてもチンプンカンプンでした。しかし少しずつ事務方の説明を聞きながら見て行くうちに、病院経営の難しさと、2年ごとに改定される診療報酬体系に合わせる柔軟さを知りました。当病院は以前と比較すると、驚くほどの進化を遂げました。救急車の受け入れ台数は4000台を優に越して、小山市を中心に近郊の市町村の救急患者さんの受け入れもカバーできるように全力で対処しています。また手術件数は年々増加し、心臓血管外科手術も再開され、大学病院とまでは言いませんが、かなりのレベルの手術は可能です。しかし、この体制を維持するためには同時に、飛躍的な雇用人数の増加を生みました。健全経営とは、患者さんに良い医療を提供することと、患者さんが溢れるぐらいくる病院を維持しなければ達成できません。患者さんが良くなれない医療では、空きベッドが目立つようになり、自ずと経営は先細りになるでしょう。

今年は病院全体として、患者さんへの細やかなサービス、接遇にも真剣に向き合い始めました。これからの病院を時には優しく、時には叱咤激励していただき、一緒に良い病院に育てていただければと願っております。

平成30年 9月

新小山市民病院 副院長・脳神経外科主任部長

宮脇貴裕



目次:

副院長挨拶	1
新任医師紹介	2
FST 活動紹介	3
連携室からのお知らせ	4
ハイライト	

- 患者支援センター内に地域サービス推進室を作りました。
- 6月に着任した新任医師をご紹介します。
- FST活動をはじめました。
- 内視鏡システムを新設しました。
- 医療連携室からは、紹介・逆紹介についてまとめました。

分からないこと、質問等ございましたら、いつでも、医療連携室までご連絡ください。

第7回 ふれあい祭り

つながいおう！
ふれあおう！
地域と医療と介護の輪

日時 10月21日(日)
9:50～15:00

毎年恒例のふれあいまつりを
開催します。

☆ミニ講演会☆

10:30～11:00

「目からウロコ！

～よりよく見える白内障手術～
もりや眼科

院長 森谷 充雄 先生

11:15～11:45

「どこでも歯医者」

～訪問歯科診療～

大友歯科医院

医院長 大友 文雄 先生

13:00～13:30

「退院後訪問ってどんなこと？」

皮膚・排泄ケア認定看護師

土田 絵美 看護師

「訪問の実際について」

緩和ケア認定看護師

栃木 由恵 看護師

☆イベント☆

- ☆ オープニングセレモニー
- ☆ みんなで楽しくレッツダンス
- ☆ 病院食の試食
- ☆ エンディングセレモニー
- ☆ 「おやまぐま」がやって来る

☆その他イベント☆

- ☆ 手づくり聴診器体験
- ☆ 調剤体験
- ☆ 救急蘇生体験
- ☆ エコー体験
- ☆ 内視鏡操作体験
- ☆ 白衣体験
- ☆ メタボ発見！！（身体測定）
- ☆ 手浴体験
- ☆ ハンドマッサージ体験
- ☆ 体組成計検査
- ☆ 車イス体験
- ☆ 視力を測ろう
- ☆ 血管機能測定&認知症テスト
- ☆ フレイルチェック
- ☆ スラックライン体験

2 TOPICS

地域サービス推進室を立ち上げました！

4月から、患者支援センター内に、地域サービス推進室を新たに設けました。地域サービス推進室とは、地域の各診療所・クリニックの先生方を定期的に訪問し、当院の最新情報や紹介患者さんの診療状況などを提供させて頂き、患者さんの適切な紹介・逆紹介の確保、先生方の要望・希望などを自院に持ち帰り、柔軟な対応ができるよう、御用聞き活動を主軸に活動する渉外部門です。

担当は、小林 幸夫（こばやし ゆきお）です。昨年度まで経営企画や診療情報管理の仕事に携わっておりました。

1度はアポイントを取らせていただいているでしょうか…。

とちまるネットや診療報酬のお話、どんなことでも構いません。何なりとお申し付けください。また、ご要望のお返事がまだのようでしたら、院内での会議等でどこまで進んでいるかなど、進捗状況だけでもご報告させていただきますので、小林もしくは医療連携室へご連絡ください。

出来たばかりの部門で、手探りで渉外活動を行っております。多々ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

電話：0285-36-0278（直通）

E-mail：joyho37b@hospital.oyama.tochigi.jp



新任ドクターの紹介

6月採用の新しい医師を紹介します



形成外科
医員
戸代原 彬宏

平成30年6月から9月まで、自治医科大学附属病院から新小山市市民病院に赴任となりました、形成外科の戸代原彬宏（とよはら よしひろ）です。

平成28年に東邦大学を卒業後、二年間自治医科大学附属病院で初期研修を行いました。平成30年4月に東京大学形成外科に入局、自治医科大学附属病院派遣となり、診療に励んでおりました。

形成外科は体表を扱う診療科であり、顔面の外傷や骨折、熱傷、瘢痕・ケロイド、難治性潰瘍、皮膚・皮下腫瘍、口唇・手指の先天異常、眼瞼下垂など対象疾患は非常に多岐にわたります。まだまだ至らない点が多いとは思いますが、少しでもお役に立てますよう最善を尽くしますので、お困りの症例がございましたらお気軽にご相談ください。

短い間ではございますが、何卒よろしくお願い致します。

FST(Function Support Team)

FSTは聞きなれない言葉だと思いますが、Function support teamの略語です。2017年の1月頃から活動を始めたチームです。何をしているチームかと言いますと、入院患者さんが自宅に帰れるようにサポートするチームです。超高齢社会の現在、入院患者さんもお高齢の方が増えてきています。サルコペニアやフレイルなどの言葉に代表されるように、ご高齢の方は、数日治療のためベッドで寝ているだけで、歩けなくなってしまうことがあります。病気は治ったのに、歩けなくなり自宅に戻れなくなる、と言ったことは、残念ながらこれまでも起きていました。こういったことを防ぎ、入院中にADLがなるべく落ちないようにサポートしているのがFSTです。現在は、地域包括ケア病棟に移り、自宅退院を目指している患者さんを対象に、看護師、ソーシャルワーカー、理学療法士、作業療法士、薬剤師、管理栄養士、介護福祉士、医師がそれぞれの視点から、具体的に何に取り組めば自宅退院できるかを検討し、実践しています。

入院をきっかけに寝たきりにならないよう、FSTを中心に病院全体で取り組めるよう、今後も活動を継続していきますので、宜しく御願い致します。

院内でのFST研修会の様子。初回に比べ現在は3倍近くの職員の関心を得ています。



医療機器の紹介

「富士フイルム製電子内視鏡システム」を新設しました

この度、最新式の電子内視鏡システム（経鼻用）を増設しました。

導入した『LASEREO（レゼリオ）』は、波長の異なる2種類のレーザー光の発光比率を変え、粘膜表層の微細な血管や構造などを強調して表示する『Blue LASER Imaging（BLI機能）』や、画像の赤色領域の僅かな色の違いを強調して表示する画像処理機能

『Linked Color Imaging（LCI）』等により、微小な病変の観察をサポートする内視鏡システムです。LCIは癌の検出に優れると言われております。

まずは、人間ドックの受診者を中心に検査を開始しました。癌が疑われる患者さんに対しては、従来通り経口の内視鏡による拡大観察が基本となりますのでご了承ください。



患者支援センター

(受付時間 平日 8:30~17:15)

医療連携室：

0285-36-0252

(緊急の患者紹介・転入相談・
その他地域連携に関すること)

予約専用ダイヤル：

0285-36-0254

(もの忘れ外来・内科・神経
内科・循環器内科の受診予約・
胃カメラ・心エコー・腹部エコー
などの検査予約)

医療相談室：

0285-36-0256

(医療相談・退院調整に関するこ
と・MSWに連絡・その他、外来
患者の各種相談に関すること)

FAX：

0285-36-0352

メール：

renkei@hospital.oyama.tochigi.jp

※メールでも受付しております。

地方独立行政法人 新小山市市民病院

〒323-0827

栃木県小山市神鳥谷 2251 番地 1

☎ 0285-36-0200 (代表)

ホームページ

<http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト

<http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

Facebook

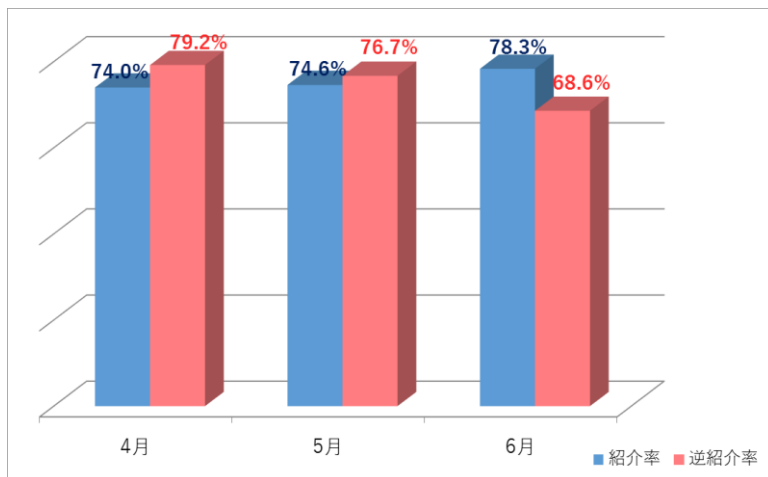
[https://www.facebook.com/shin.oyama
.city.hospital](https://www.facebook.com/shin.oyama.city.hospital)



医療連携室からのお知らせ

いつも当院運営にご協力頂きありがとうございます。

4,5,6月の紹介・逆紹介率データを集計しグラフ化しました。



平成30年度 地域完結型医療・連携の会のご案内

日々の診療でお忙しい中、医師会の先生方におかれましては、いつも遅い時間にお集まりいただき、ありがとうございます。

今後の日程は下記のとおりとなりますので、
皆様のご参加をお待ちしております。



回数	日程	担当診療科
第15回	平成30年 9月20日 (木曜日)	消化器内科・小児科・呼吸器内科
第16回	平成30年11月15日 (木曜日)	脳神経外科・整形外科・泌尿器科
第17回	平成31年 1月17日 (木曜日)	神経内科・循環器内科・糖尿病代謝内科
第18回	平成31年 3月28日 (木曜日)	内科総合診療科・腎臓内科・消化器内科

○会場：新小山市市民病院 さくらホール (多目的ホール)

○時間：19:15~

※ 軽食をご用意しております。

施設の共同利用について ~放射線科からのお知らせ~

☆ 造影剤を使用したCT検査(ダイナミック可)も検査可能です。ご活用ください。

【予約の方法】

放射線科に直接お電話ください。《TEL：0285-36-0261》

受付時間 8:30~17:15

【注意事項】

紹介状にクレアチニンの値の記載をお願いいたします。

6ヵ月以内のクレアチニンの値が正常であることが条件になります。

(目安としてeGFRが45以上)

※ 問診票、同意書に関しましては当院ホームページ(各種書類)からダウンロード可能
となっております